

# ながめま



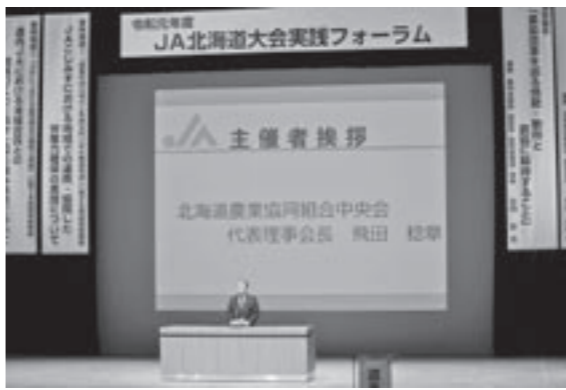
— 給食試食会 長沼舞鶴小学校 —

## J A北海道大会実践フォーラム開催

J A北海道大会実践委員会は、11月12日に札幌市において「J A北海道大会実践フォーラム」を開催し、当J Aより常勤役員と幹部職員、鈴木青年部長、荒井女性部長、J A空知女性協議会中川会長らが参加しました。

本大会は、昨年11月の第29回J A北海道大会決議事項である「協同の力で農業所得の増大と多様な担い手の確保・育成」並びに「次代につなげる協同組合の価値と実践」の取組み状況について、J Aグループ全体の共有を図り、実践への機運を高め、J Aグループ内外に実践状況を発信することを目的としています。

実践フォーラムでは、日本経済新聞の吉田忠則編集委員と農



水省の日向彰経営局協同組織課長が農協改革の動向やJ Aへの期待をテーマに講演されました。また、事例報告では道内J Aから「労働力確保の取組み」や「准組合員との関係づくり」などの報告がありました。

J A道中央会の高橋和則理事は、「豊かな魅力ある地域社会の実現を目指して、准組合員と一緒に活動する仕組みづくりが550万人サポーターづくりへの最終段階につながる」と参加者に呼びかけました。

## 長沼舞鶴小学校で給食試食会開催

11月13日、長沼舞鶴小学校で給食試食会が開催されました。

この試食会は、学校給食用に寄贈した新米500kg、新玉葱100kg、新じゃがいも(キタアカリ)100kg、馬追牛50kgの地元農畜産物を使用し、寄贈者と児童と一緒に食べることで食育の現場にふれ、子どもたちに地元の農業に少しでも関心を持ってもらうために開かれ、成田組合長をはじめ、戸川町長ら6名が出席しました。

当日の献立は、新米なつぽしや玉ねぎ、キタアカリ、馬追牛を使用したハツシユドビーフ、長沼産野菜を使用したサラダが提供され、実際に食べた児童からは「お肉が柔らかくて美味しい」「美味しくてもっと食べたい」など声が上がっていました。

学校給食では、米は100%がぬま産米、パン・ラーメンやうどんにはながぬま産小麦が100%使われ、野菜は35%以上がながぬま産となっています。



## 長沼町花き生産組合 長沼町民文化祭にて出展

長沼町花き生産組合は、11月1日から3日にかけて行われた長沼町民文化祭の作品展示としてフラワーアレンジを出展しました。

出展は毎年行っており、フラワーアレンジについては長沼町で栽培されるトルコギキョウやスプレーマム(菊)、りんどう、ひまわり等の花材を用いて生産者の奥様方が中心となって製作を行い、それぞれが個性溢れる作品となりました。

最終日の3日には、チャリティー販売として製作したフラワーアレンジの他に切り花の販売を行い、町民の皆様にも花を楽しんでいただいていた大変有意義な取り組みとなりました。



## 年金友の会 国内旅行

11月5日から8日まで、「ながぬま農協年金友の会」の国内旅行(浅草芸と横浜・草津・石和温泉4日間の旅)が13名の会員参加のもと実施されました。

「浅草芸ホール」では、落語・漫才・紙切り等の演芸を初めて間近で観劇した会員が多く皆笑いに包まれています。また、その日の夕食



は横浜中華街を散策した後、中華料理に舌鼓を打ちました。

群馬県では、世界遺産に登録されている「富岡製糸場」を見学し、日本が開発した生糸の大量生産技術に驚愕しました。「鬼押し出し園」では、浅間山噴火の際に流れ出した溶岩で、膨大な量の溶岩が風化した結果、形成された奇勝を見学し、浅間山観音堂でお参りの後、宿泊地の草津温泉では、湯畑を散策し湯もみの見学・体験もできました。

長野善光寺に向かう途中、白根山を車中より見学し日本一高い所を通る国道を通り、普段では見られない雄大な山並みを堪能しました。国宝の「松本城」では、戦うための黒い堅固な天守と、平和な時代になって造られた優雅な辰巳附櫓・月見櫓と数々の優れた築城技術に圧倒しました。

その他にも、武田神社・甲斐善光寺・鎌倉大仏・鶴岡八幡宮を参拝し、たくさんのお土産をいただきました。旅行初日から帰宅まで、見事な好天に恵まれたおかげで、いろいろな角度から富士山も見え、充実した4日間を元気に過ごした皆さんの思い出とお土産を抱えて帰宅しました。



女性部研修旅行

# 女性部活動に参加しませんか？

女性部では様々な部会活動を行っています。  
興味のある方は是非見学に来てください！



なないろスプーン部会  
(料理教室)



フレッシュミズ  
(研修旅行・交流事業)



コスモス部会  
(花苗立て、講習会)



ひまわり部会  
(ボランティア、福祉学習会)

ライラック部会  
(手芸工芸制作)



問い合わせ 営農部営農企画課 TEL 88-2232

## 福祉学習会



11月5日、農協において女性部  
部役員・理事及び、助け合い組織ひ  
まわり部会による福祉学習会を開催  
し18名が参加しました。  
本年は、出前講座で「ふれ保健福  
祉課の大塚さんと三浦さんを迎え  
「誤嚥性肺炎とその予防」について  
研修しました。近年では、日本人の  
死因の原因第3位が肺炎となってい  
る状況で、人は食べられることが幸  
せにつながることから、飲み込む力  
がいかに大事かを学びました。後半  
ではのどの  
筋トレ、呼  
吸トレ、発  
声トレなど  
を皆さんで  
行いまし  
た。最後に  
食べる力を  
失わないた  
めに飲み込  
む力が必要  
なのだと言  
いました。

## ひまわり部会



11月14日「長  
沼町ボランティア  
協議会」主催  
の「ふれあい屋  
食会」のお手伝  
いに、部会の皆  
さんが参加しま  
した。この日は朝から紅白のお餅を  
つき参加者に配布し、昼食の手伝い  
や午後からの演芸やカラオケに参加  
するなどして利用者の皆さんと共に  
楽しく過ごしました。また、菟田部  
会長さんが長年のボランティア活動  
に対し感謝状をいただきました。



## JA北海道女性リーダー研 修会・北海道家の光大会



11月7日、  
8日に札幌  
にてJA北  
海道女性  
リーダー研  
修会・北海  
道家の光大  
会が開催さ  
れました。  
7日は講師  
を招き「学  
ぼう、地域  
でとりくもうSDGs」についての  
お話を聞きました。女性部活動とリ  
ンクするSDGsについて分かりや  
すく理解することができました。ま  
た、家の光記事活用発表や、工夫展  
など家の光という雑誌がいかに女性  
部活動に密  
着している  
かも再確認  
することが  
できとても  
充実した研  
修会になり  
ました。



## Aコープ酢講習会



11月21日、農協大会議室にてAコー  
プのお酢を使った講習会を行い27名  
が参加しました。Aコープ店の協力  
をいただき、  
一般のお客  
様にも参加  
いただきました。  
製造会社  
「大興産業」  
より講師を  
招き、お酢  
の利用方法  
や料理を3  
品調理して  
いただき、  
試食会では  
お酢を飲み  
比べたり、  
講師に調理  
方法を聞く  
など活発な  
意見が交わ  
されていました。

# 農協・関連会社 年末年始業務のお知らせ

区分 年月日	ながぬま農協							株式会社FAMO長沼					Aコープ店舗 北長沼店
	一般業務		本所金融業務		北長沼支所金融業務		舞鶴事業所	Aコープ店舗		燃料センター			
	本所 北長沼支所 舞鶴事業所	資材 センター	窓口業務	キャッシュ コーナー	窓口業務	キャッシュ コーナー	キャッシュ コーナー	ながぬま店	本店 事務所	長沼 給油所	北長沼 給油所	機 械 センター	
令和元年 12/30(月)	通常営業 9:00 ~ 17:00	通常営業 9:00 ~ 16:30	通常営業 9:00 ~ 15:30	通常営業 9:00 ~ 18:00	通常営業 9:00 ~ 15:30	通常営業 9:00 ~ 16:30	通常営業 9:30 ~ 16:30	通常営業 10:00 ~ 18:30	通常営業 9:00 ~ 17:00	通常営業 8:00 ~ 18:30	通常営業 8:00 ~ 18:00	通常営業 8:00 ~ 17:00	通常営業 9:00 ~ 17:30
令和元年 12/31(火)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	営業 9:30 ~ 15:00	営業 9:00 ~ 12:00	営業 8:00 ~ 15:00	営業 8:00 ~ 12:00	休業 (日直対応)	休業
令和2年 1/1(水)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業 (日直対応)	休業
令和2年 1/2(木)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業 (日直対応)	休業
令和2年 1/3(金)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業 (日直対応)	営業 9:00 ~ 17:00	休業	休業 (日直対応)	休業
令和2年 1/4(土)	休業	休業	休業	営業 9:00 ~ 16:00	休業	休業	休業	通常営業 (初売) 10:00 ~ 18:30	休業 (日直対応)	営業 9:00 ~ 17:00	休業	休業 (日直対応)	休業
令和2年 1/5(日)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業 10:00 ~ 18:30	休業 (日直対応)	休業	休業	休業 (日直対応)	休業
令和2年 1/6(月)	通常営業 9:00 ~ 17:00	通常営業 9:00 ~ 16:30	通常営業 9:00 ~ 15:30	通常営業 9:00 ~ 18:00	通常営業 9:00 ~ 15:30	通常営業 9:00 ~ 16:30	通常営業 9:30 ~ 16:30	通常営業 10:00 ~ 18:30	通常営業 9:00 ~ 17:00	通常営業 8:00 ~ 18:30	通常営業 8:00 ~ 18:00	通常営業 8:00 ~ 17:00	通常営業 9:00 ~ 17:30

## 年末年始緊急連絡先

- JA 共済事故受付センター (事故受付：24時間フリーダイヤル)  
TEL 0120-258-931
- JA 共済サポートセンター (レッカー移動や故障時の緊急対応)  
TEL 0120-063-931
- JAバンク キャッシュカード等紛失受付  
TEL 0120-944-904
- ながぬま農業協同組合 …… 細川 TEL 0123-88-0296 または TEL 090-5225-4707
- Aコープ店舗 …… 佐々木 TEL 0126-22-4755 または TEL 090-3779-6136
- 燃料センター …… 美馬 TEL 0123-84-2432 または TEL 090-2056-7619
- 機械センター …… 平井 TEL 0123-88-3328 または TEL 090-2871-8437



# 令和元年産 農産物の集荷状況について

## 米集荷状況

(令和元年11月20日現在)

(製品) ※米の館は自主検査に基づく推定数量

区分	作付面積(ha)	契約数量(俵)	平均契約数量	製品(俵)			
				1等米	2等米	3等米	計
米の館	1,601.0	90,248	5.6俵/10a	72,480	708	0	73,188
個体				2,851	0	0	2,851
合計				75,331	708	0	76,039
出荷割合				99.1%	0.9%	0.0%	—

## (低品位米・屑米)

区分	低品位米(俵)	屑米(俵)						合計	
	特A S (1.95~1.90mm)	色選屑	特A①	特A②	A	B	C		
米の館	7,268	2,431	11,244				13,675	20,943	
個体	64	91	71	876	340	93	0	1,471	1,535
合計	7,332	2,522	12,624				15,146	22,478	

## 大豆集荷状況

(令和元年11月20日現在)

品 種	は種前出荷契約			品位別集荷状況 (単位：t)					集荷合計
	面積 (ha)	数量 (t)	平均反収 (kg)	D (シワ・裂皮)	G (汚粒)	H (病害・斑点)	I (シワ・裂皮)	J (その他)	
ユキホマレ	1,559.8	3,749	240	1,024.2	301.5	0.0	1,930.8	215.0	3,471.5
トヨムスメ	273.2	629	230	249.5	50.1	0.0	278.1	3.3	581.0
ユキシズカ	284.5	666	234	407.2	15.2	0.0	264.4	0.0	686.8
とよみづき	87.6	242	279	95.3	0.0	0.0	133.3	2	230.7
スズマルR	82.2	193	234	92.8	6.3	0.0	98.2	0.0	197.3
とよまどか	1.8	4	240	0.0	0.0	0.0	4.6	0.0	4.6
合計	2,289.1	5,483	240	1,869.0	373.1	0.0	2,709.4	220.4	5,171.9

### グリーンパートナー 交流会開催

グリーンパートナー実行委員会では、本年最終となる3回目の婚活交流会を11月9日「ANAホリデー・イン札幌すすきの」で男性10名、女性11名参加のもと、また新たな企画として、50歳以上の会員に年齢を限定した中で、同日札幌市内の居酒屋で男性4名、女性3名による交流会を開催いたしました。

婚活交流会では、「1対1でのトーク」の他に、「グループトーク」を取り入れ、最終的に「好印象カード・連絡先カード」を実施し、4組のカップルが誕生いたしました。

また、参加男性から提供された米や野菜を使用した食材メニューは、女性陣から高い反響を得ておりました。

50歳以上の交流会は、落ち着きのある居酒屋での少人数による開催となり終始和やかな雰囲気でも進み意義のある交流会になったと思われまます。

次年度も男女の「出会いの場」として交流会を開催してまいりますので、興味のある方は男女を問わず是非ご参加ください。

事務局 経営相談部 経営相談課  
担当 澤谷・高橋  
TEL 8812229

### 3 大豆 (トヨムスメ、ユキホマレ)

融雪後の好天によりは種作業も進み、は種期は平年より5日早まった。出芽期は6日早まったが、は種期間中の降水量不足の影響で出芽の遅れたほ場も一部見られた。出芽期以降の気温は平年並だったが、好天により開花期も平年より6日早まった。開花期以降も好天が続き、成熟期は平年より5日早まった。着莢数は平年並だったが、一莢内粒数は平年より少なかった。

[生育期節・農作業]

は種期	出芽期	開花期	成熟期	収穫期
5月20日 (+5)	6月1日 (+6)	7月14日 (+6)	9月23日 (+5)	10月12日 (+4)

### 4 たまねぎ (北もみじ 2000)

は種期は平年より2日早く、出芽も良好だった。融雪期が平年より1日早く(4月3日)、移植作業は順調に進み、移植終は平年より2日早い5月2日だった。移植後は7月上旬まで降水量が少なかったが、好天に恵まれて生育は進んだ。球肥大期は平年より5日早い7月6日で、収穫時の球径は大きく、収量は平年を上回った。病気の発生は少なかったが、ネギアザミウマが6月中旬から見られ、発生量はやや多めだった。

[生育期節・農作業]

は種期	移植期	球肥大期	倒伏期	枯葉期	収穫期
2月27日 (+1)	4月24日 (+5)	7月6日 (+5)	7月27日 (+1)	8月20日 (+1)	9月3日 (+1)

### 6 ながねぎ

移植作業は4月下旬頃から始まり、6月中旬頃まで順調に進んだ。7月上旬までの降雨不足により初夏どり作型では草丈の伸長がやや遅い傾向だった。夏秋どり作型の生育は順調で、葉先枯れがやや目立った。病害虫は、9月下旬からさび病が見られ、10月中旬以降は一部でべと病が見られた。5月中旬からハエ類、6月中旬からアザミウマ(スリップス)が発生し、一部地域では多発していた。



## 令和元年度 農作物生育概況

空知農業改良普及センター空知南西部支所

### 1 水稲 (ななつぼし：成苗ポット)

は種は平年並であった。出芽は4月中旬より好天に経過したためやや早く、苗質は日照と気温が確保できたため、平年よりやや良かった。4月3半旬と5月1半旬の高温のため、一部、発芽障害や一葉期の黄化が見られた。

移植期は、平年並であった。

5月20、21日の大風(最大瞬間風速18.1m/s)により葉傷みがみられた。その後 高温・多照で経過したため、活着期は平年並となった(活着期 本年5/26 平年5/27)。

6月に入っても高温・多照で推移したため、分けつは順調で生育も大きく進んだ。

6月下旬からは寡照により生育はやや緩慢となったが、生育前半が高温に推移したため、幼穂形成期は平年より5日早まった。

前歴期間、冷害危険期は一時期・やや低めの気温に遭遇したが、7月2半旬からは平年並の気温で経過したため稔実歩合は確保できた。

m<sup>2</sup>当穂数がやや多く、出穂がだらついたため出穂期間が平年と比べ2日長くなり、出穂期で平年より3日の進み、出穂揃では2日の進みとなった。

7月下旬から8月初旬の高温により初期登熟の抑制が懸念されたが、その後の降雨とやや低めの気温で登熟は緩やかとなり、成熟期(1日早)、収穫期(1日遅)で平年並であった。

m<sup>2</sup>当稔実粒数は平年よりやや多かったが、千粒重は軽かったため収量は平年並となった。タンパクはやや高めとなった。

[生育期節・農作業]

	は種期	移植期	幼穂形成期	出穂期	成熟期	収穫期
本年 遅速	4月19日 (+1)	5月21日 (+1)	6月29日 (+5)	7月29日 (+3)	9月14日 (+1)	9月25日 (-1)

### 2 秋まき小麦 (きたほなみ)

融雪期は平年より1日遅く、起生期は平年並だった。雪腐病の発生は昨年より多かった。起生期以降の好天により出穂期も平年より6日早まった。出穂期以降、気温は平年並だったが、日照が確保されたことで成熟期も平年より6日早まった。赤かび病の発生は少なかった。穂数は平年に比べ少なかったが、一穂粒数は多かった。

[生育期節・農作業]

は種期	起生期	幼穂形成期	出穂期	成熟期	収穫期
9月14日 (+2)	4月8日 (±0)	5月4日 (+3)	5月31日 (+6)	7月15日 (+6)	7月25日 (+3)

# 「JAの総合事業」について

農協改革を考える

## 協同組合とは

### 相互扶助の精神で成立



協同組合は、一人ひとりでは経済的に弱い立場にある人が集まり、相互扶助の精神の下、協同して事業を

進めて自らの経済的・社会的地位を高めていくとする自立的な組織です。19世紀にヨーロッパで資本主義社会の成立とともに誕生し、世界各地に広がりました。

協同組合と株式会社では、設立の基本的な考え方や運営が大きく異なります。協同組合の目的は組合員の生産や事業、生活を守ること、利潤の追求ではありません。一方、株式会社は利潤の追求が目的で、株主にできるだけ多く配当することが求められています。

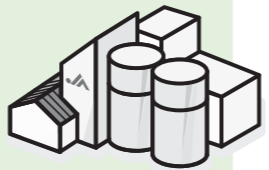
また、協同組合は、組合員が事業の利用者であり、運営者でもあることが特徴で、組合員のニーズに応じて事業を展開します。一方、株式会社の運営は、株主の所有する株数に応じた議決権で決まります。一人は万人のために、万人は一人のために。協同組合はその精神の下、地域の振興や災害復興の支援といった市場原理だけでは解決が困難な問題にも、大きく貢献しています。

## 協同組合と株式会社との違い

	協同組合	株式会社
目的	組合員の生産と生活を守り向上させる(非営利目的)	利潤の追求(利益の追求)
組織者	農業者、漁業者、森林所有者、勤労者、消費者、中小規模の事業者など(組合員)	投資家、法人(株主)
事業、利用者	事業は根拠法で限定、事業利用を通じた組合員へのサービス、利用者は組合員	事業は限定なし、利益金の分配を通じた株主へのサービス、利用者は不特定多数
運営者	組合員(その代表者)	株主代理人としての専門経営者
運営方法	1人1票制(人間平等主義に基づく民主的運営)	1株1票制(株主による運営支配)

農協改革を考える

## 営農・経済事業



営農・経済事業は、地域農業を振興し、組合員の営農活動や生活を維持・向上させるJAの基幹事業です。

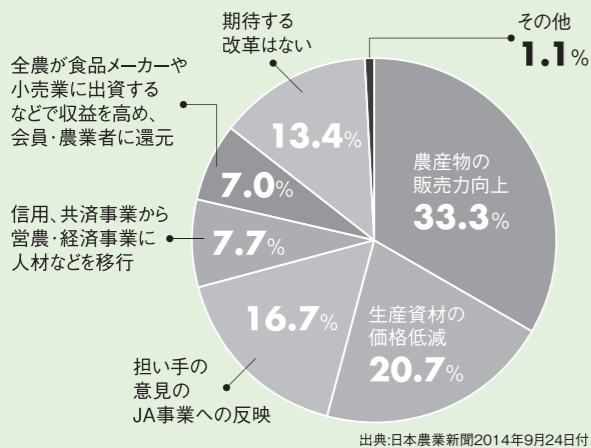
JAは発足以来、行政や関係機関と連携して産地形成を図ってきました。JAに集荷された農畜産物は、全農・経済連と一体となった流通・販売体制により消費者のもとに届き、安全・安心な食料の安定

供給に貢献しています。

組合員の営農・経営支援に向けて、個々のニーズをくみ取るために、地域農業の担い手に出向くJA担当者(愛称TACリタック)などの配置も進めています。

また、地域農業の活性化や農所得増大に向けて、JA事業の改革を期待する声も上がっています。日本農業新聞が行った「農政・農協改革モニター調査」によると、JAグループに期待する改革として、「農産物の販売力向上」が33.3%と最も多く、3%と最も多く、「生産資材の価格低減」が20.7%、「担い手の意見のJA事業への反映」が16.7%と続きました。このような課題に対して、JAグループ全体で取り組むことが求められています。

## JAグループに最も期待する改革



農協改革を考える

## JAの役割と機能

### 地域に根差した活動展開



JAは、農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織されました。この目的のために、営農指導から生活事業まで、総合事業体として組合員にサービス

を提供してきました。生産資材・生活資材の共同購入や農畜産物の共同販売、貯金の受け入れ、農業資金の融資や共同利用施設の設置、方が一の事態に備える共済などの事業や活動を行っています。

農村部の少子高齢化に合わせ、JAが福祉事業に取り組みことで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを実現しています。近年は健全な食と農を次世代につなげようと、青年部や女性組織などを中心に食農教育も盛んです。



担い手の営農支援をするJAの指導事業

現在、日本では行き過ぎた市場原理主義により、格差社会の拡大と地域経済の疲弊に拍車がかかっています。農業、農村にかかる課題は多くありますが、地域に根差した組織としての役割がJAに一層求められています。

農協改革を考える

## 信用、共済事業



JAグループの信用事業は、組合員から貯金を受け入れ、これを組合員に貸し付けるという相互金融によつて、営農と生活の改善・向上を図るものです。「JAバンク」として、JA、信連、農林中金が一体となり運営しています。

JAバンクは一般の金融機関と異なり、「農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)」といった農家向け制度金融の窓口となるなど、農業金融の役割を担っています。また、地域

に根差した金融機関として各種ローン相談など、地域の資金ニーズへの対応にも取り組んでいます。

共済事業(JA共済)は、地域密着の「助け合い」事業を展開しています。組合員やその家族または地域住民の病気や災害など、さまざまなリスクに対する保障を提供し、生活の安定と将来の安心を図るものです。

さらに、農業経営の法人化などを見据え、農業リスク分野への取り組みを強化しています。自然災害発生時においては、迅速に損害調査・支払査定を実施しており、東日本大震災では9700億円を超える共済金をお支払いしています。

また、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献するため、交通安全教室や笑いと健康教室、高齢者集団保養検診、災害シートサードビスなど、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

信用、共済事業では、農業の6次産業化や再生可能エネルギー事業、食農教育の支援、被災者支援などにも力を入れています。



ミュージカル形式の交通安全教室

# 「総合事業」が構築する地域の営農とライフライン

総合事業体であるJAグループは、組合員の営農と暮らしを守るだけでなく、広く地域社会全体のライフライン(生活の基盤となる生命線)を担っています。今回の農協改革で提起された事項を踏まえて、これまでJAグループが構築してきた総合事業の役割を今一度認識して、グループ内での理解を深めることが求められています。



## 安全・安心な食料を安定供給

JAは総合事業を通じて、担い手を中心とした持続可能な農業の確立を目指すとともに、安全・安心な国産農畜産物を安定的に食卓に届けています。

例えば、JAは若手から定年者まで幅広い年代を対象に担い手を育成したり、耕作者のいない農地を担い手に引き渡すほか、JA自身が農業経営に乗り出すなどして、地域農業の振興に取り組んできました。

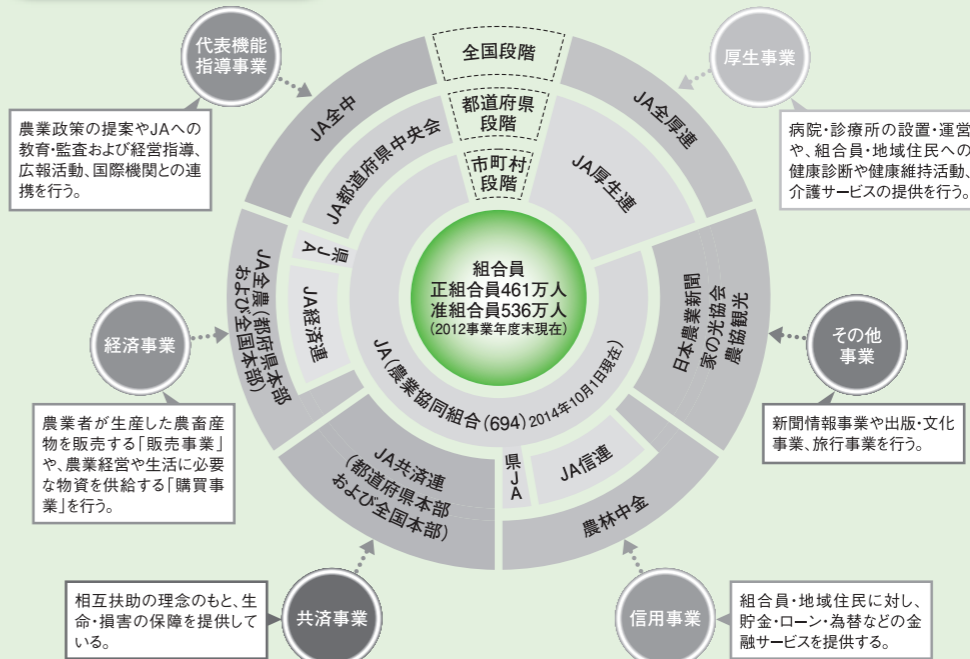
販売では市場出荷に加え、流通形態や消費者の嗜好の変化に合わせて、全国各地でJAが農産物直売所を

設立・運営したり、インターネットを通じて全国の消費者に農産物を届けています。特に農産物直売所は地産地消の推進だけにとどまらず、地域の生産者の所得向上や、生産者と消費者の交流拠点としての機能も発揮しています。

また、海外の日本食ブームに合わせて輸出に取り組んだり、生産者の6次産業化を支援したりしています。学校給食には、JAや地域の生産者組織が農産物を供給して、地元産利用を拡大させるとともに、次世代に健全な食を伝える役割を担っています。

## 組合員を支えるJAグループ組織図

JAは、組合員を主役に多様な事業・活動を行う組織です。JAグループは農業者に必要な資材を調達する経済事業に加え、厚生・医療事業、共済事業、信用事業などさまざまな事業を展開しています。



資料:農林水産省「統合農協統計表」(2012年度)

注)統計JA数は、JA全中調べ

## 地域住民の暮らしを守る

JAでは、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」に向けて、地域ライフラインの一翼を担っています。特に少子高齢化で人口減少が加速する中山間地域や離島などの条件不利地では、集落機能維持や高齢者生活支援活動などで、暮らしを守る中心的な役割を担っています。

JAグループでは「JA地域暮らし戦略」を策定し、食農教育、高齢者生活支援や信用・共済事業などのJA事業との連携により、組合員や地域

住民の暮らしを総合的に支援しています。

東日本大震災をはじめとした災害時にも、いち早く食料支援や瓦礫の撤去活動などのボランティア活動に乗り出すなど、大きな役割を發揮しました。こうしたJAの総合事業は国際的にも高く評価され、世界の協同組合のモデルにもなっています。総合事業を中心としたJAのビジネスモデルが成り立たなくなれば、こうした役割が果たせなくなり、地域社会の存続にも大きな影響が出るのが想定されます。

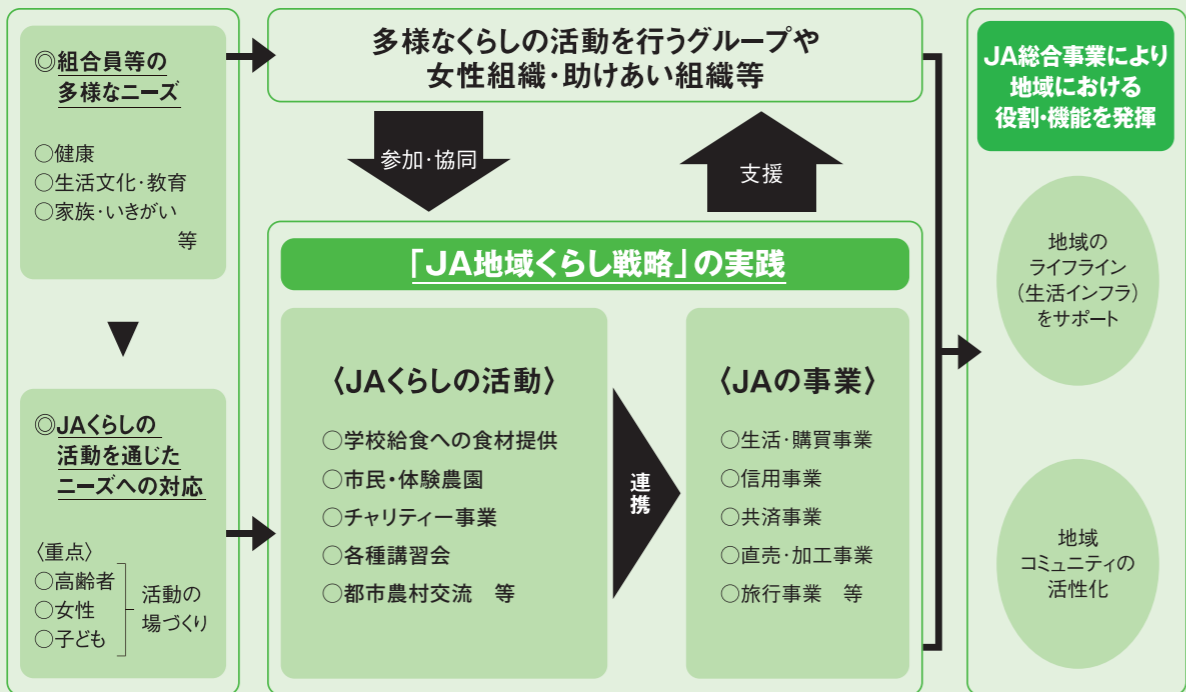


災害時のライフライン確保に向けて市と協定を結び非常食料品などを備蓄するJAつくば市谷田部



独り暮らし高齢者の農地の草刈り支援を行うJA職員(島根県・JAくまびき管内)

## 「JA地域暮らし戦略」の実践による協同の輪の拡大



## 理事会報告 - 第12回 -

《令和元年11月25日開催》

### 〔議案〕

- 第1号 組合と理事との契約承認について
- 第2号 クミカン整理の資金対応等について
- 第3号 担い手支援事業について
- 第4号 営農指導業務規程の一部変更と無料職業紹介所運営要領の制定について
- 第5号 購買業務規程の一部変更について
- 第6号 肥料のパレット配送について
- 第7号 ブロッコリー集出荷場建設に伴う設計並びに地質調査について
- 第8号 令和元年産玉葱・馬鈴しょ概算払いについて
- 第9号 令和元年度決算見込みについて(10月末現在)
- 第10号 令和2年度事業計画骨子について
- 第11号 事業推進会議の開催について
- 第12号 地区懇談会の開催について
- 第13号 組合員の資格変更並びに出資金減口について

### 〔報告事項〕

1. 会議行事報告について
2. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の実施申請について
3. 令和元年度経営所得安定対策の実施状況について
4. グリーン・ツーリズム事業の実施状況について
5. 第3回バラ施設運営協議会提出議案について
6. 令和元年産米の館・個体受入れ状況について
7. 令和元年産大豆受入れ状況について
8. 令和元年産特定米穀の価格設定について
9. 令和元年産野菜・花き共選等の状況について
10. 令和元年度再建農家並びにC階層農家の経済動向について
11. グリーンパートナー実行委員会の取組みについて
12. その他 7件

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

### 今月の組合員数

組合員 1,617名  
 正組合員 ( 844名)  
 准組合員 ( 773名)  
 正組合員戸数 700戸

## 農協の動き 10/15~11/25

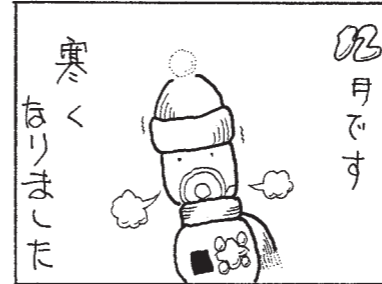
### 10月

- 15~18日 秋季長期共済推進 於 組合員宅
- 22~24日 JA空知管内監事協議会 監事全体視察研修 於 島根県方面
- 24日 長沼町養豚協会獣魂慰霊祭 於 長沼神社
- 25日 北農健保組合議員評議会 於 北農健保会館
- 25日 農水農村振興局多目的機能支払推進室来組 於 農協
- 25~26日 JA女性部浜中漁協農産物直売 於 浜中町
- 26~27日 マルヤマクラスフードフェスタ2019 於 札幌市内
- 28日 農林水産省 奥田局次長蔬菜施設視察 於 蔬菜集出荷施設
- 28~29日 中央会経営監査 於 農協
- 28~31日 ロータリー爪予約推進 於 組合員宅
- 28~11月1日 内部監査(中央会) 於 農協
- 29日 国営かんがい排水事業道央用水地区完工式 於 札幌市内
- 31日 北海道米対策委員会 於 札幌市内

### 11月

- 1日 空知管内農協組合長会議 於 空知農業会館
- 2日 役員協議会 於 農協
- 5~8日 年金友の会道外旅行 参加者13名 於 関東方面
- 6日 空知農協連新規事業検討会 於 空知農業会館
- 6日 岩見沢地方法人会設立30周年記念式典 於 岩見沢市内
- 8日 女性部と常勤役員との意見交換会 於 農協
- 9日 第3回グリーンパートナー交流会 於 札幌市内
- 9~10日 東京ふるさと長沼会総会 於 東京都内
- 10日 役員協議会 於 農協
- 11日 長沼振興公社懇親会 於 町内
- 11~12日 常勤理事研修 於 JAカレッジ
- 11~14日 第3回四半期自治監査 於 農協
- 12日 経営所得安定対策数量払申請受付 於 農協
- 13日 農産物贈呈に対する学校給食試食会 於 舞鶴小学校
- 14日 常勤理事と監事の意見交換会 於 農協
- 12日 JA北海道大会実践フォーラム 於 札幌市内
- 13~15日 新任理事研修 於 JAカレッジ
- 18日 総務・経済対策委員会 於 農協
- 18~20日 第2回農業用廃ビニール類回収 於 麦バラ施設
- 19~22日 新任監事研修 於 JAカレッジ
- 20~22日 みのり監査法人 期中Ⅱ監査 於 農協
- 21日 担い手支援推進委員会 於 農協
- 21日 営農委員会 於 農協
- 22日 中央会経営監査報告会 於 農協
- 22日 南空知花き生産組合20周年記念式典 於 栗山町内
- 25日 理事会 於 農協
- 25日 役職員コンプライアンス研修会(子会社合同) 於 農協

## 1等米マン21



## 園芸蔬菜課事務所移転のお知らせ

現在、園芸蔬菜課の事務所を花き野菜集出荷場に設置しておりますが、12月9日より冬期間(12月~翌年3月)の間、本所事務所2階の中会議室を園芸蔬菜課事務所として使用いたします。その間については花き野菜集出荷場に職員は配置しておりませんのでお知らせいたします。

なお、御用の方は直接、本所事務所(下記番号)にお電話いただくか、本所事務所の方へおいでくださいますよう、よろしくお願いいたします。

本所事務所：園芸蔬菜課

直通電話 88-2228

業務時間：午前9時から午後5時

## 組合員勘定の残高年内精算について

日頃、農協事業に対しまして特段なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のこととは存じますが、毎年組勘の残高不足額につきましては12月末をもって精算することになっております。

組勘不足額が見込まれ資金借入により精算される方につきましては早めに各地区相談員へご相談いただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ

経営相談部 経営相談課 ☎88-2229

## Aコープ道の駅直売所 冬期間休業のお知らせ

誠に勝手ながら、令和元年12月1日から令和2年3月31日まで冬期間、道の駅での営業を休業させていただきます。

つきましては、営業場所を令和元年12月1日から令和2年3月下旬まで、冬期間はAコープながめ店、中央店舗に場所を移しまして営業いたしますので、ご来店おまちしております。

また、令和2年4月からは、道の駅直売所にて営業行いますので、よろしくお願いいたします。

Aコープ道の駅直売所

年賀状印刷 喪中がき 承り中

受付切日は12月20日(金)です

Aコープながめ店 ☎88-2222  
 Aコープ北長沼店 ☎89-2136



JAながめま



2019

金利上乘せ

# 冬の貯金キャンペーン

期間

2019 12月30日<sup>月</sup>まで

お申込みは  
お早目に!

## 定期貯金

対象者 個人

新規お預入のみ

預入期間1年  
適用金利 **0.05%**

預入期間3年  
適用金利 **0.07%**

キャンペーン対象要件

- ◆ 預入金額 新規お預入れ 10万円以上
- ◆ 預入方式 自動継続 (満期日以降の利率は、満期日現在の店頭金利で継続書替となります)
- ◆ 中途解約について 当 JA 所定の中途解約利率が適用されます。

## 定期積金

対象者 個人

積立期間  
1年以上5年以内

適用金利

**0.07%**

キャンペーン対象要件

- ◆ 掛込金額 契約額 12万円以上
- ◆ 掛込方式 口座振替
- ◆ 中途解約について 当 JA 所定の中途解約利率が適用されます。

### キャンペーン対象条件

- 原則、現金または普通貯金からの振替とさせていただきます。 ● 店頭に「商品概要説明書」をご用意しています。 ● 書替継続の場合は10万円以上の増額で0.03%
- 新規の方は、本人確認書類(運転免許証等)をご持参下さい。 ● 満期日以降の利率は、満期日現在の店頭表示金利での継続書替となります。
- お利息には、20.315%の税金がかかります。(マル優は除きます)

## 特別金利キャンペーン

キャンペーン期間  
令和2年1月31日(金)まで

### 住宅ローン

住宅の新築に加え、中古住宅購入や修理費用等にもご利用いただけます。

3年固定 **0.8%**

5年固定 **0.9%**

10年固定 **1.0%**

固定特約期間終了後も店頭金利より  
固定1.5%、変動0.5%引き下げ

### リフォームローン

住宅のリフォーム・修理費用等にご利用いただけます。

変動金利 **1.6%**

固定金利 **2.0%**

- ※当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます。
- ※別途保証機関への保証料がかかります。
- ※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

### マイカーローン

自動車(新車・中古車)の購入に加え、車検や修理費用等にもご利用いただけます。

変動金利 **1.5%**

固定金利 **2.0%**

JAカード(一体型)もしくはカードローンのお取引がある方(新規・既契約)は、キャンペーン金利より更に0.05%引下げいただけます。

JAバンク **ながめま農業協同組合**

本所 ☎88-2224  
北長沼支所 ☎89-2031

JA だより **ながめま**  
2019. 12月号 No.310

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号  
発行/ながめま農業協同組合 営農部営農企画課  
TEL/0123-88-2232 FAX/0123-88-4113  
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp